

ゲロとゲリのはなし

指導者 三郎丸小 古賀 浩

1. はじめに

クラスの中で、ある子どもが体調を悪くして、食べた物を吐いてしまったとします。その時、クラス内ではどのようなことが起こるのでしょうか？『だいじょうぶ？』と優しく声をかけてくれる子ども、先生を呼びに行ってくれる子ども、ティッシュを貸してくれる子どもなど、吐いてしまった子どもの気持ちを安心させてあげる子ども達もいるでしょう。しかし、遠巻きに見ているだけであったり、教室から逃げ出してしまったりする子どももいます。中には、『くさい』とか、『気持ち悪い』などの言葉を浴びせ、一番きつい思いをしている子どもをもっと不安にさせる子どももいるかもしれません。

この学習で目指すものは、「げろやげりは汚いもの」としか認識していない子ども達の固定観念を逆転させ、「げろやげりは、自分のいのちを守るための大切なもの（大切な身体の仕組み）なんだ」という認識を持たせることです。さらに、相手の立場になって物事を考えることの大切さを理解し、誰もが安心して生活できるクラスにしていこうという意欲を持たせることも目標にしています。

1983年、横浜でホームレスの人たちが子ども達から襲撃されるという事件がありました。この事件で3名の方が子ども達から殺されました。「ぼくたちはゴミを掃除しただけ・・・」と語った子どもたちの目にホームレスの人たちはどのように映っていたのでしょうか？

「固定観念」とは、「偏見」とか「先入観」、「中途半端な知識」という言葉に置き換えてもいいかもしれません。私たち大人も、たくさんの偏見や先入観を「ひと・もの・こと」に対して持っています。今回の授業では、げろやげりのイメージ（価値観）を変えることがめあてですが、世の中に存在する「一見汚いもの（価値のなさそうなもの）」の価値を見いだすこと（価値観の転換）に繋げていくことができれば、子どもたちの生きているこの世界が、子どもたちにとってまた違った輝きを見せるようになるのではないのでしょうか。ホームレスの人たちに対していろいろな視点で見ることができたり、別の価値観で捉えることができたりしていれば、あの子どもたちは「人殺し」にならずにすんだかもしれないのです。

2. 目標

- げろやげりは、私たちの身体、いのちを守るための大切な仕組みであることを理解する。
- 同じ経験をして立場が違っていると、感じ方や気持ちも違うことに気づき、相手の立場になって考えることの大切さがわかる。

（発展目標）

- 「ひと・もの・こと」に対して、多面的にみることができるようになる。

3. 準備

- 消化器官の図
- 感想を書くプリントなど

4. 展開

学習のながれ	○子どもの反応 ●指導上の留意点等	備考
<p>1. 体から出てくるものにはどんなものがあるでしょう？</p> <p>2. 今日は、みんながほぼ毎日、体から出しているうんこについて勉強しましょう。</p> <p>3. 食べたものはどうやってうんこになるのでしょうか？</p> <p>4. ときどきちがううんこもでるよね。</p> <p>5. どんなときにげろしたり下痢したりしましたか？</p> <p>6. クラスの中で誰かが吐いた時にみんなはどんな行動をとったかな？</p> <p>7. 誰でも経験していることだけど、自分がげろしたり、下痢したりしたとき、どんな気分でしたか？</p> <p>8. どうして、食べたものをげろしたり下痢したりするのでしょうか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>げろや下痢は自分のいのちを守るための大切な仕組み。絶対に我慢してはいけないよ。</p> </div> <p>9. 一番きつい思いをしている友達にできることは何だろう？見ているだけじゃ優しさは伝わらないよ。</p> <p>10. 今日の学習で分かったことや、感じたことは、何かな？</p>	<p>○子どもの反応 ●指導上の留意点等</p> <p>○「汗、血、鼻水、つば、目くそ、鼻くそ、しっこ、うんこ、ゲリ、ゲロ、あか…」</p> <p>●自由に発言させる。</p> <p>○「ゲーっ！」</p> <p>●消化器官の図を使って、食べ物がうんこになるまでを簡単に説明する。「食べ物は9mもの管を通り、うんこになるのに1日もかかるんだよ」</p> <p>○水みたいなうんこが出たよ」「げりしたことがあるよ」</p> <p>○「食べ過ぎた時」「冷たいものをのみすぎたときかな」「風邪をひいた時」「悪いものや腐ったものを食べた時」など</p> <p>○「だいじょうぶって言ってあげたよ」「ティッシュを貸してあげたよ」「何もできなかった」など</p> <p>○「とてもきつかったよ」「苦しかった」「苦い味がしたよ」「くさかったよ」など</p> <p>●風邪や悪いものを食べた時 『体が風邪のバイ菌と闘っている時に胃や腸に食べ物が入っていたら、バイ菌と闘うエネルギーが減ってしまうんだ。だから、体はエネルギーを減らさないように早く食べ物を体外に出そうとするんだ。それでげろしたり下痢したりするんだよ。体にとって悪いものを食べたり飲んだりした時も早く体外に出そうとするんだよ。』</p> <p>○「先生を呼びに行くよ」「背中をさすってあげる」「だいじょうぶって言ってあげる」「ティッシュを貸してあげる」</p> <p>●ロールプレイをしてもよい。</p> <p>●感想を書く。</p>	<p>体 の 図</p>